

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：スターチャイルド《KSPナーサリ ー》	種別：認可保育所	
代表者氏名：名和明子	定員（利用人数）： 名	
所在地：川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP西棟1階		
TEL：044-820-8331	ホームページ：https://www.Starchild.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2008年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：ヒューマンスターチャイルド(株)（旧(株)みつば）		
職員数	常勤職員： 7名	非常勤職員 9名
専門職員	（専門職の名称） 名	
	施設長：1名	保育士：11名
	管理栄養士：1名	調理員：2名
	事務員：1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室：2	乳児・幼児トイレ、多機能トイレ、職員室、調理室など

③理念・基本方針

【保育理念】子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し伸ばす保育を実践します

【保育目標・方針】

- (1) 良く考え、心身ともにたくましい子（自立と挑戦を支援します）
 (2) 個性豊かな子（個性を尊重し長所を伸ばします）
 (3) やさしさと思いやりのある子（社会性＝人と関わる力を身につけます）

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・散歩では、地域の人々と出会い、公園では身体を動かし、季節の自然に触れ、様々な発見、興味から好奇心、意欲を育てています。
- ・夏野菜を育て、観察をして収穫し、給食で調理しています。カブトムシなどの昆虫を飼育しています。
- ・英語教室では外国人講師と他の国の言葉や文化に触れ、体操教室では身体機能を高める動きや友達と協力して活動しています。
- ・離乳食講座や地域の親子を招いて体験保育と育児相談を実施しています。また、KSP夏祭りに参加し、舞台上で盆踊りを披露したり、老人憩いの家でふれあい囲碁の会を実施するなど地域交流に努めています。
- ・運営法人作成のマニュアルなどの他、園独自の就学に向けた「アプローチカリキュラム」や「年間食育計画」を実施するための「クッキング保育・食育計画表」などを作成して保育に活かしています。

・運営法人のプライバシーマーク取得に伴い、「プライバシーマークガイドライン」を学び、職員全員が「教育確認テスト」を行い、個人情報保護法を認識するよう取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年5月7日（契約日）～ 2020年10月1日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	2回（2015年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆子どもが主体的に活動できる環境設定の工夫

園は、子どもが主体的に活動できる環境を整えるよう努めています。子どもの遊び、食事、着替えなどの機能別の空間を確保し、日々の保育の中で子どもが無理なく基本的な生活習慣を身につけ、一日の生活の流れを理解し、活動できるよう子どもに伝えていきます。昨年度は、「環境設定」をテーマに園内研修を実施し、また川崎市の研修を受講して学んだ内容を職員間で情報を共有して実践に活かしています。保育士は、子どもが自らやってみようという気持ちを受けとめ、自由な発想で興味を持って遊べるよう見守っています。

◆子どもの人権を尊重した保育の実践

職員は、「差別の禁止マニュアル」や「子どもの権利条例」を会議などで確認し、子どもへの声のかけ方も肯定的な言葉を使うよう努めています。職員は、子どもが話しやすい環境を作り、子どもの話をよく聞いています。言葉で表現できない子どもには、表情やしぐさで思いを受けとめ言葉にして伝えるように配慮しています。職員は、一人ひとりの子どもの様子をカリキュラム会議や連絡ノートなどで共有し、担任以外の職員も周知しています。子どもの気持ちを尊重した保育が実施され、今回実施した利用者家族アンケートでも「子どもの気持ちを大切にしながら対応しているか」の問いに全ての保護者が「はい」と回答しています。

◆働きやすい職場環境の整備

園は、保育士がゆっくりと落ち着いて余裕を持って保育できるよう、働きやすい職場環境の整備に努めています。ノンコンタクトタイム（事務処理等に専念できる時間）を確保して記録なども勤務時間内に終わる工夫がされています。小規模園の良さを発揮してどの保育士もどのクラスでも対応できるよう担任は年度ごとにシャッフルされます。また、ベテランの職員も多く、何かあるとすぐ話し合いの機会を持ち、様々なアプローチ方法やアドバイスなど協力体制もできていて風通しの良い環境を作り、みんなで協力して保育に当たっています。

◇改善を求められる点

◆利用者ニーズを積極的に把握するための仕組み作り

園は、年に1度の懇談会や個人面談などで保護者から意見を聞く機会を作り、保護者と信頼関係を築くよう努めています。開設から12年、苦情の案件は無いということですが、苦情に至る前の小さな声や意見、要望を聴取する姿勢を示し、引き続き積極的に要望や意見を募り、多くの要望や意見を集約して保育に反映する仕組み作りが望まれます。また、苦情解決の仕組みが保護者に十分周知されていないことが利用者家族アンケート

でわかりました。今後は必要な情報が伝わるよう更なる工夫が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

2008年4月1日に開園したスターチャイルド《KSPナーサリー》は13年を迎えました。

2011年に1回目の第三者評価受審し、2015年に2回目を受審して2020年今回で3回目となりました。これまで積み上げてきたものを引継ぎながら運営して参りました。

前回の受審から新しい構成メンバーとなったことで、職員全員で自己評価に取り組み一つの項目を確認する中で、日々の保育について改めてしっかりと振り返ることができました。また、話し合いを通し職員間の共通理解・連携がより深まる良い機会となりました。お忙しい中、家族アンケートに答えて下さいました保護者の皆様に感謝するとともに、評価結果をこれからの励みと課題として、更なるサービスの向上に努めていきたいと思えます。これからも「子どもたちの無限の可能性を信じ、伸ばす保育を実践する」スターチャイルドの保育理念を第一義にしながら子どもも大人も笑顔溢れる園であるように職員一同一生懸命取り組んでまいります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり